
裏探偵 Back Detective

ものかき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

裏探偵 Back Detective

【Nコード】

N5335Z

【作者名】

ものかき

【あらすじ】

謎あるところに探偵あり。

一般人では到底解決が出来ないであろう事件を「裏で解決する」探偵。

その名も裏探偵、別名はBack Detective。

そんな裏探偵を名乗る謎の青年と、スタントマン、ソムリエという

愉快な仲間たちも入り乱れ、彼の華麗な推理が今幕を開ける！
……かもしれない。

プロローグ

謎あるところに、探偵あり。価値あるところに、怪盗あり。
それはどこの時代、どんな場所においても永遠不変なものである。
もちろん、この現代においてもまた然り。

トリックアート。

それはまさに名の通り、目の錯覚を利用し、平面上に書いた絵を立体的に見せ相手を騙す絵のことである。その立体の具合といったらまさに目と言うよりは脳が騙されるといった方がしっくり来るほどだ。

このトリックアートは本来の絵画に比べそれを描く画家の数は劣るものの、町行けば実に様々なところで見ることができる。

しかしながら、多種多様なトリックアートを建物一面に書き尽くした美術館というのは、片手で数えるしかないのではないだろうか。

そんな数少ないトリックアート美術館のうち今回の事件の幕開けを

飾る美術館は、英国某所にある『ブリテン・トリックアート』という美術館である。

深夜。

巡回警備も交代の時間に差し掛かっていた。この交代で夜勤も終了する屈強な警備員たちはあくびを噛み殺しながら今から警備に入る警備員にたすきを譲る。

「ふぁ……！あとは頼んだぜ……」

「了解」

警備員は美術館の鍵を新たな警備員に渡す。さて、これでやっと家に帰れる……。と、警備員が思った瞬間である。

「うわっ！？」

「！な、なんだっ！？」

新たな警備員が叫びをあげたかと思うと、何かを避けるかのように飛び退いた。驚いたもう一方の警備員は慌てて新たな警備員の方を向く。

「おい！？何があった！？」

「な……なにかが飛んできたっ……!？」

「飛んできた？」

警備員は素早く床に張り付くようにして視線を張り巡らせた。なにかが飛んできたということは、床に飛来物が落ちているということだ。警備員としてそれを見逃すわけにはいかない。

「ん……?」

そんな警備員の目にあるものが飛び込んだ。

床の上に紙が落ちている……。

警備員は慎重にその紙に手を伸ばす。普通の紙ではなかった。少なくとも、コピー紙の類ではない。

触ってみると、ツルツルとした高級感の溢れる厚紙だ。警備員は恐る恐る拾い上げてみる。表面には三日月をかたどったロゴマークが入っていた。そして、それを裏返してみると……? ?

『紳士淑女の諸君、ごきげんよう。英国の短い夏をいかがお過ごしだろうか。』

こちらは今までに頂戴した盗品の鑑賞で次の犯行までのささやかな余暇を過ごしている。

さて、そろそろ勤労意欲に掻き立てられて、こちらも新たな犯行タ―ゲットを決めさせてもらった。

こちらの美術館 『ブリテン・トリックアート』の、来る“ベティ”エリック展”にて、トリックアートの権威・ベティ”エリックの描いた最高傑作である“迫り来る波濤”を頂戴しに参上する。

“ベティ”エリック展”が終わった頃には、“迫り来る波濤”は我が手に有ることだろう。

怪盗ルネット』

「こっ、これは……!?!」

警備員は紙に書かれた文面に目を通すと、気色を変えて電話機に飛びついた。

コール音が静まった美術館内に鳴り響いた。そして、ガチャリと受話器が上がる音がスピーカーから鳴る。

『もしもし』

『もしもし!?!大変ですッ!?!』

警備員は拳を握りしめ受話器に訴えた。

「か、怪盗から予告状が届きましたッ!?!」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5335z/>

裏探偵 Back Detective

2011年12月18日00時48分発行